

たまき塾通信 2016. 1月号

皆さま 新年明けましておめでとうございます。

本年もどうぞ宜しくお願ひ申し上げます。素晴らしい一年になりますように...

以前大手の進学塾に勤めていた時に 新年に出勤して、他の先生方に

「おめでとうございます。」と挨拶すると どうも反応が変なのです。

もともと口ごもってらっしゃる様子。?? わからないのは私だけ...

入試の合格まで「おめでとうございます。」を言わねばいのか^{おんれい}慣例にやうで

受験^{けん}をかつく、受験生のための先生方の縁起^{えんき}かつき^{かつき}ににのです。

たまき塾では、思いっきり「おめでとうございます。」と挨拶します。

だって「おめでとうございます。」は何度言ってもいいじゃないですか。

2月、3月の「合格おめでとうございます。」ばかり楽しみにしています。

さて、今年のお正月恒例、箱根駅伝は青山学院の^{れんぼ}2連覇、

完全優勝です。昨年、登りを走り「山の神」と言われた^{のみかた}神野大地選手は

4年生、キマランとして出場でした。私は、「すごいなあ」と思いました。

この一年、何度も疲労骨折し、練習が出来ず、それでも笑顔で彼が

涙をこぼしている様子の取材を見ていたからです。当日、本番のレースでは、

途中お腹を押さえる苦しそうな様子もありました。見事1位でたまきを

渡します。そして給水地点で神野くんを待っていたのは4年間共に^{とも}厳しい

練習をしてきて、とうとう一度も箱根駅伝、夢の大舞台で走ることを叫ば

ないで、親友の伊藤^{いとう}弘毅^{こうき}選手。駅伝の本番前「苦しいと思うでも俺を見たら

笑顔で走ってくれ。」と二人は約束しています。神野くんは本当に苦しうに^{けんめい}懸命に

走っています。伊藤君を見ると笑ったのです。伊藤君も神野君に笑顔で

寄り添うように^{はたけ}伴走します。20メートル...伊藤くんが箱根駅伝で走った唯一

の距離です。駅伝のメンバーに選ばれたのは伊藤くんは、首のために

何か出来るかと考え、^{しやうりやう}寮長に立候補し、首の体調管理を全力で^{けんめい}懸命に

サポートしてきたのです。青山学院は^{おうりやう}往路、^{ふくろ}復路ともそしてこの区間も常に

一位の完全優勝でした。たまきには、箱根駅伝の10人の選手だけでなく

駅伝に出られたのは部員、64人、全員の名前を書いて全員の思いを

胸にし、走ったのです。その思いがあるからこそ、あの強さだと思えます。

たまき塾生 皆さんも一人で走っているではありません。家族、友人、

皆と一緒に努力しているチームだと思えます。(人とい時は励まし

嬉しい時は共に喜ぶ仲間です。だからこそ真剣にかんはれるでは

ありません。今年も一緒に、皆さんの希望の道を走り続けましょう。

桜、咲かせる春が待っています。

玉森みき 拜